

書誌第105号追

九州沿岸水路誌

追補第8

令和6年(2024)12月20日発行



海上保安庁

九州沿岸水路誌

追補第8

この追補は、令和3年3月刊行の九州沿岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和6年11月15日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和6年12月20日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所 (表題、港名等)	備考
47	博多港	追補第3の当該ページは無効
50	博多港	追補第7の当該ページは無効
60	郷ノ浦港	
91	佐世保港	追補第6の当該ページは無効
92	佐世保港	追補第7の当該ページは無効
106	長崎港	追補第1の当該ページは無効
136	八代港	追補第6の当該ページは無効
138	水俣港	
147	男女群島 ・ 野母崎～早崎瀬戸	
171	鹿児島港	追補第7の当該ページは無効
182	宮崎港	
183	宮崎港	追補第4の当該ページは無効
250	与那国島、祖納港	

(水深8.5m)及び志賀島間に大曾根があり、これらの避険線になる。

博多港 (33° 38′ N 130° 22′ E) (海図W190、W1227) (JP HKT)



5

第1区

(2019年11月撮影)



第2区、第3区

(2019年11月撮影)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、家畜検疫の港、植物防疫の港、国際拠点港湾

10

概要 九州北岸の中央部付近にある福岡湾の大半を港域とする港で、港域はさらに第1区～第4区の4港区及び2航路に分かれている。

なお、第1区南西部に**博多漁港**が、第4区西岸の瑞梅寺《ズイバイジ》川河口に**浜崎今津漁港**がある。

港口は能古島の南、北両側にあり、北側が主な港口でその水深は14～20mあり、内方に向かってしだいに水深が浅くなっている。港内中央部では航路を除き水深7m前後の所が多い。**クルーズセンターや国際ターミナル等が整備され、内外からの客船が多く入港している。**

15

目標

地物名	概位	備考
端島〔波島〕	33° 38.6′ N 130° 20.2′ E	南西端に灯台がある。
毘沙門山	33° 36.6′ N 130° 16.0′ E	高さ177m
博多ポートタワー	33° 36.3′ N 130° 23.9′ E	高さ102m、赤白塗
福岡タワー	33° 35.6′ N 130° 21.1′ E	高さ238m、紺色、顕著

	第7・8号岸壁	33° 36.7' N 130° 23.8' E	360	3~5.5	2,000×4	7号岸壁前面障害物あり
	第9~11号岸壁	33° 36.7' N 130° 24.1' E	390	6~7	5,000×3	
	第12号岸壁	33° 36.6' N 130° 24.2' E	161	5.5	3,500×1	
	博多ふ頭2号岸壁	33° 36.3' N 130° 23.9' E	105	5	2,000×1	
	博多ふ頭3号岸壁		147	6~7.5	5,000×1	定期船用
須崎ふ頭	1号岸壁	33° 36.4' N 130° 23.5' E	130	5~7.5	5,000×1	
	第2~4号岸壁		553	10~12	30,000×2	アンローダークレーン3基
	第5・6号岸壁	33° 36.3' N 130° 23.2' E	260	7	5,000×2	
	第7~10号岸壁		450	4~5.5	2,000×5	
	長浜1号岸壁	33° 36.0' N 130° 23.4' E	360	3~5.5	2,000×4	
	長浜2号岸壁	33° 35.9' N 130° 23.6' E	360	4~6	2,000×4	

上記表の他に、防波堤内には箱崎、東浜、長浜及び福岡の4船だまりがあり、小型船及び漁船の係船に利用されている。

5 **最大入港船舶** 2024年9月3日、客船MSCベリッシマ（171,598t、喫水8.7m）が中央ふ頭5号岸壁に着岸した。

航泊制限 引火性危険物積載タンカーの引火による事故を防止するため、一般船舶は港内に停泊中の同タンカー（タンク船も含む）から30m（LPG船は50m）以内の海域に立ち入ることが禁止されている。同タンカーは、港内停泊中「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

通信

10 **港長** 船舶と港長との間で、「もじほあん」を介しVHF無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	周波数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連絡先	備考
もじほあん MOJI COAST GUARD RADIO	16/12ch	常時	福岡海上保安部	

港湾管理者 船舶と港湾管理者との間で、VHF無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	周波数 (呼出・応答/通信)	運用時間	連絡先	備考
はかたポートラジオ	16/11, 12ch	常時	092-272-0577	東洋信号通信社受託局

水先 博多水先区水先人会に要請する。（第1編総記第6章水先参照）

係船浮標 長浜船だまり西部に1個の係船浮標がある。

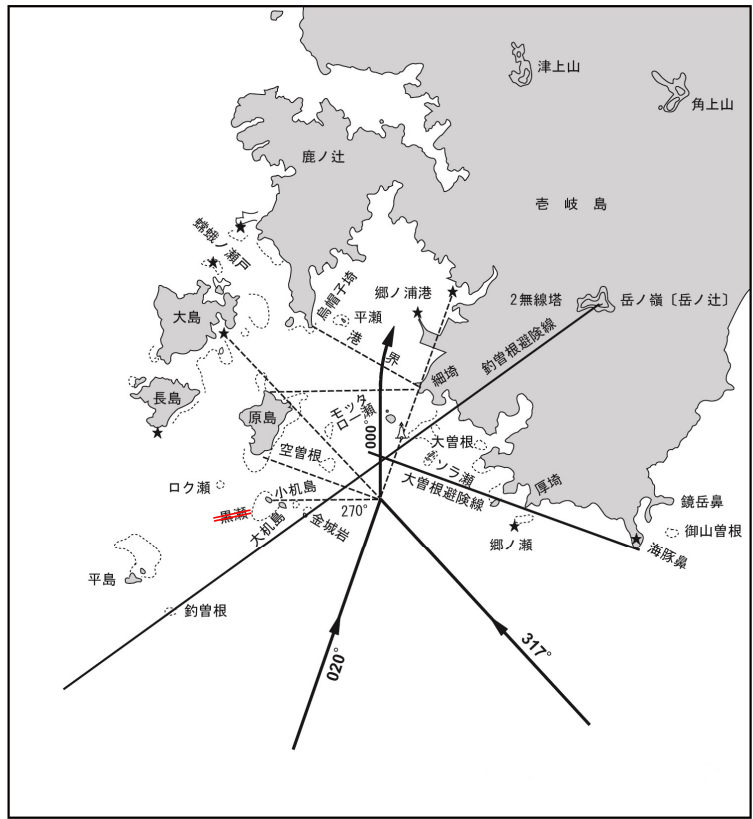
15 **錨泊禁止** 西防波堤南部の内港入口から荒津大橋に至る海域は、福岡、長浜各船だまりに出入りする船舶の航路を確保するため、錨泊が禁止されている。

錨地 主に、第3区に錨泊するよう指導されている。北寄りの風の強いときは船舶の喫水に応じて志賀島や西戸《サイト》埼（33° 38.7' N 130° 21.7' E）の南西方に、西寄りの風の強いときは能古島の東側に錨泊するほうがよい。長浜船だまりは、どの方向の風に対しても比較的安全である。

検疫錨地は、能古島の東部に指定されている。

20 **架橋** 第1区南西部の博多漁港入口を横断する荒津大橋（高さ約38m）がある。

第12図 郷ノ浦港針路法及び釣曾根・大曾根避険線図



海事関係官公署

官公署名	連絡先
壱岐海上保安署	0920-47-0508

- 5 錨地 外港は諸礁を除けば水深20~30mで、南寄りの風が強吹するとき以外はおおむね安全である。
- 補給 清水及び燃料油の補給ができる。
- 修理 小修理の可能な造船所がある。

医療施設

名称	電話番号	備考
壱岐病院	0920-47-1131	

海上交通 博多港及び厳原港との間にカーフェリー便 (1,926 t、1,809 t 他) 及び高速船便 (163 t) がある。また、原島、長島を經由して大島漁港に至るフェリー便 (102 t) がある。

台風・津波等対策 本港では、台風・津波襲来時等、異常気象時における事故を未然に防止するため、佐世保港台風等対策委員会が設置され、在港船舶等に対し、異常気象時における各船舶がとるべき措置を定めている。また、異常気象時においては、港長から、異常気象時における各船舶がとるべき措置について、港則法に基づく勧告等がなされることがあることから、留意すること（問合せ先：佐世保海上保安部）

- 5 **航泊禁止** 平成30年1月31日から当分の間、高後埼灯台から東方3,700m(概位33°06'07" N 129°42'22" E)の沈船(約12,000t、黄塗球体浮標にて表示)を中心とする半径250mの円内海域は、喫水が10m以上の船舶の航行及び全ての船舶の錨泊が禁止されている。(平成30年1月31日 港長公示第2号)

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考	
鯨瀬フェリー栈橋	33° 09.7' N 129° 43.4' E	115	5.5	2,000×1	フェリー使用	
新みなと	33° 09.8' N 129° 43.5' E	-7.5m岸壁	220	7.5	15,000×1	
		-4.5m岸壁	100	4.5	2,000×1	
三浦-10m岸壁	33° 09.6' N 129° 43.5' E	270	10	12,000×1		
干 尺	33° 09.3' N 129° 43.4' E	-4.5m岸壁	60	4.5	500×1	
		-7.5m岸壁	130	7.5	5,000×1	
		-5.5m岸壁	180	5.5	2,000×1	
前 畑	33° 09.0' N 129° 43.3' E	-4.5m岸壁	120	4.5	7,000×1	
		-10m岸壁	185	7.5~10	15,000×1	
		-11m岸壁	195	9.5~10	20,000×1	水平引込クレーン式アンローダー
		-13m岸壁	260	11.5~13	40,000×1	
浦頭岸壁1、2号	33° 08.8' N 129° 43.4' E	130	7.5	5,000×1		
浦頭岸壁1、2号	33° 06.1' N 129° 44.9' E	260	6~7	5,000×2		

上記のほか、港内各所に米軍及び自衛隊の専用係船施設がある。

- 10 **最大入港船舶** 2024年3月27日、客船MSCベリッシマ(171,598t、喫水8.7m)が三浦-10m岸壁に着岸した。

航泊制限 引火による船舶の事故を防止するため、一般船舶は、港内に停泊中の同タンカー(タンク船を含む)30m以内の水面に立ち入ることが禁止されている。なお、同タンカーは、港内停泊中、夜間でも容易に視認しうる「引火性危険物積載中」の垂れ幕等を掲げている。

- 15 **錨地** 第3区東部の**恵美須湾**は、水深10m前後、底質泥及び貝殻で好錨地になる。
 検疫錨地(33°05.8' N 129°42.0' E)は、航路の南側に指定されている。
 危険物積載船の錨地は、第3区の百間《ヒヤッケン》鼻(33°07.6' N 129°44.1' E)と土井ノ鼻(33°05.5' N 129°42.0' E)を結ぶ線以東に指定されている。
 なお、佐世保港内で錨地を希望する全ての船舶は、佐世保海上保安部に連絡すること。

通信 船舶と港長との間で無線電話による港務通信ができる。

呼出名称	周波数（呼出応答/通信）	運用時間	連絡先
もじほあん MOJI COAST GUARD RADIO	16/12ch	常時	佐世保海上保安部

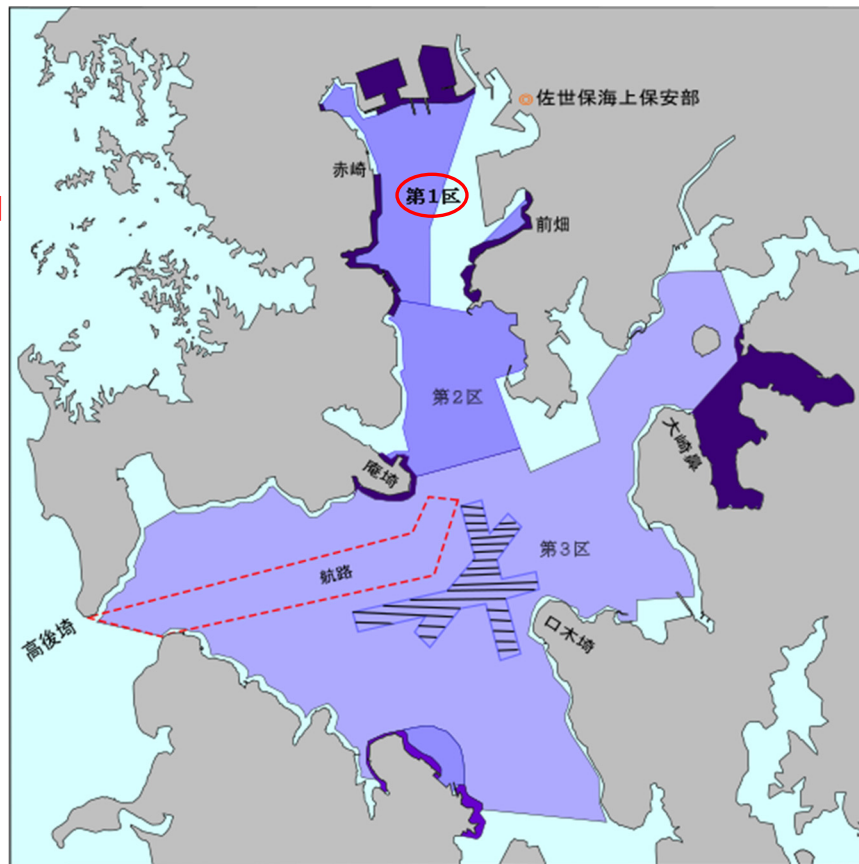
係船浮標 港内には係船浮標があるが、米軍及び自衛隊の専用である。

海底磁気測定器設置区域 第2区大森鼻の西北西方約0.6Mに海底磁気測定器設置区域（西側至近に灯付白塗浮標がある）がある。

5 **立入禁止等** 米軍施設制限水域が設けられている。制限水域は4種類に区分され、それぞれに禁止事項が定められている（第16図参照）。

第16図 佐世保港米軍施設制限水域図

【港区記載の修正】



施設 水域名	禁止事項（許可取得を要す）	施設 水域名	禁止事項（許可取得を要す）
A 施設水域 ■	立入り	C 施設水域 ■	1. 潜水、サルベージのための立入り 2. 合衆国軍管理船舶及び水上機から100メートル以内の立入り
B 施設水域 ■	1. 漁ろうのための立入り 2. 潜水、サルベージのための立入り 3. 停留のための立入り 4. 合衆国軍管理船舶及び水上機から100メートル以内の立入り	D 施設水域 ■	1. 潜水、サルベージのための立入り 2. 投錨のための立入り 3. 昼間漁ろうのための立入り 4. 水域が水上機により使用されているときの立入り

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
小江公共岸壁	32° 45.4' N 129° 48.5' E	370	8~10	15,000×2	
小江係船くい	32° 45.5' N 129° 48.7' E	200	10	15,000×1	
小江東ふ頭岸壁		60	4.5	700×1	
神ノ島-5.5m岸壁	32° 43.5' N 129° 50.0' E	360	5.5	2,000×4	
皇后ふ頭-5.5m岸壁	32° 43.4' N 129° 50.1' E	90	5.5	2,000×1	
皇后ふ頭-5.5m岸壁	32° 43.4' N 129° 50.3' E	180	5.5	2,000×2	
皇后ふ頭-7.5m岸壁	32° 43.4' N 129° 50.1' E	390	7.5	5,000×3	
丸尾-5m岸壁	32° 44.8' N 129° 51.8' E	300	4	500×4	漁船用
中ノ島突堤-5m岸壁	32° 44.9' N 129° 52.1' E	255	5	500 t 級	漁船用
元船-5.5m岸壁	32° 44.8' N 129° 52.1' E	90	5	2,000×1	
元船-7.5m岸壁		130	6	4,000×1	
出島岸壁	32° 44.6' N 129° 52.2' E	212	9	8,000×1	
松が枝岸壁	32° 44.2' N 129° 52.1' E	360	11.5~12	100,000 t ×1	
小ヶ倉《コガクラ》-10m岸壁 (北1号)	32° 42.3' N 129° 50.7' E	175	10	10,000×1	
小ヶ倉-7.5m岸壁(北2号)		100	7.5	5,000×1	
小ヶ倉-5.5m岸壁(北3号)		100	5.5	2,000×1	
小ヶ倉-12m岸壁(西)	32° 42.2' N 129° 50.5' E	240	12	30,000×1	コンテナ クレーン
小ヶ倉-10m岸壁(西)		170	10	15,000×1	
小ヶ倉-7.5m岸壁(南)	32° 42.1' N 129° 50.6' E	130	7.5	5,000×1	
小ヶ倉-10m岸壁(南)		170	10	12,000×1	
土井首《ドイノクビ》 -5.5m 岸壁	32° 41.8' N 129° 50.4' E	180	—	2,000×1	
深堀-7.5m岸壁	32° 41.5' N 129° 49.4' E	260	7~7.5	5,000×2	

係船浮標 港内には多数の係船浮標がある。

最大入港船舶 2019年6月29日、**旅客船** スペクトラム・オブ・ザ・シーズ(169,379 t、喫水8.8m)が、松が枝岸壁に着岸した。

- 5 **台風・津波等対策** 本港では、台風・津波襲来時等、異常気象時における事故を未然に防止するため、長崎港台風等対策委員会が設置され、在港船舶等に対し、異常気象時における各船舶がとるべき措置を定めている。また、異常気象時においては、港長から各船舶がとるべき措置について、港則法に基づく勧告等がなされることがあるので留意すること。**(問合せ先：長崎海上保安部)**

- 1 ベイパイロット乗船場所 戸島灯台より 184° 2.2 海里 (32° 09.7' N 130° 04.7' E)
- 2 ベイパイロットサービス時間 24 時間
- 3 八代港ハーバーパイロット乗船場所 (日出～日没)
 錨泊船 航路 No. 1 ブイ 0.5 海里西 (32° 27.0' N 130° 29.0' E)
- 5 直航入港船 航路 No. 1, 2 ブイ 1 海里南 (32° 25.9' N 130° 29.2' E)

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考	
外港	G0 岸壁	32° 31.6' N 130° 32.2' E	410	10.5	220,000t×1	クルーズ船専用
	G1～G4 岸壁	32° 31.9' N 130° 32.4' E	650	10～11.5	15,000×4	
	G5 岸壁	32° 32.2' N 130° 32.6' E	280	12.5～14	50,000×1	2 アンローダー、 2 クレーン併設
	G6 岸壁		200	12	30,000×1	コンテナクレーン
	G11・G12 岸壁	32° 31.5' N 130° 32.3' E	260	5～8.5	5,000×2	
	G13 岸壁		165	8.5	10,000×1	
内港	N1～N8 岸壁	32° 30.5' N 130° 33.8' E	720	3～4.5	2,000×8	
	N9・N10 岸壁	32° 30.7' N 130° 33.3' E	260	5～5.5	5,000×2	
	-4.5m岸壁	32° 30.6' N 130° 34.2' E	540	3～3.5	1,000×7	

この他、会社専用の係船施設がある。

注意 大築島以北の海域各所に多数の漁さくがあり、レーダによく映るものの高潮のときは没するものもあるので注意を要する。

- 10 **最大入港船舶** 2024年10月9日、客船 MSC ベリッシマ (171,598 t、喫水 8.7m) がくまモンポート八代 (G0 岸壁) に着岸した。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
八代海上保安署 (港長)	0965-37-1477	福岡検疫所 水保・八代出張所	熊本空港出張所へ連絡 096-232-3661
長崎税関八代税関支署	0965-37-1603	熊本県 八代港管理事務所	0965-37-0338
門司植物防疫所 鹿児島支所八代出張所	0965-37-1544	福岡出入国在留管理局 熊本出張所	096-362-1721

- 15 **台風・津波対策** 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、八代港船舶津波、台風等対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：八代海上保安署)

医療施設

名称	電話番号	備考
労働者健康安全機構熊本労災病院	0965-33-4151	

引船 引船がある。

修理 修理できる造船所がある。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
福岡検疫所 水俣・八代出張所	熊本空港出張所へ連絡 096-232-3661	福岡出入国在留管理局 熊本出張所	096-362-1721
長崎税関八代税関支署 水俣出張所	0966-62-2347	熊本県 水俣港管理事務所	0966-63-2449

引船 引船がある。

水先 島原海湾水先区水先人会に要請する（第1編総記第6章水先参照）。

- 5
- 1 ベイパイロット乗船場所 戸島灯台より 184° 2.2海里 (32° 09.7' N 130° 04.7' E)
 - 2 ベイパイロットサービス時間 24時間
 - 3 水俣港ハーバーパイロット乗船場所 (日出～日没) 航路 No. 1, 2 ブイ 0.5海里西 (32° 11.0' N 130° 04.4' E)

10 **台風・津波対策** 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため、水俣港等船舶津波、台風等対策協議会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：八代海上保安署、TEL 0965-37-1477)

医療施設

名 称	電話番号	備 考
国保水俣市立総合医療センター	0966-63-2101	

海上交通 幣串港（獅子島）との間に定期旅客船便（19t）がある。

15

米ノ津港 (32° 08' N 130° 20' E) (海図W174) (JPKKO)

港種 港則法適用港、植物防疫の港

概要 八代海南東岸にある港である。この港は、米ノ津川河口の北東隣にある流通港湾で、背後にアルコール工場、飼料工場などがある。河口左岸には**名護漁港**がある。

20 **気象** 年間を通じて北東の風が多い。台風の際や北西風の強吹時には風浪が侵入して停泊が困難になる。

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (m)	水 深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
1号岸壁 (-4.5m)	32° 07.8' N 130° 20.7' E	120		700×2	
2号岸壁 (-5.5m)		90		2,000×1	
3号岸壁 (-4.5m)	32° 08.0' N 130° 20.8' E	120		2,000×1	
4号岸壁 (-7.5m)	32° 07.8' N 130° 20.4' E	130		5,000×1	

注意 港域内の西側にある米ノ津川の河口付近は距岸約700mまで干出する。

補給 清水の補給ができる。

男女群島 (32° 01′ N 128° 23′ E) (海図W1384)

概要 福江島の南南西方約 35Mにある男女群島は、行政上は五島列島の五島市に所属している。二つの主島（男島、女島）とやや小さな三つの島（クロキ島、寄《ヨリ》島、ハナクリ島〔花栗島〕）のほか、多数の小島や突岩から成り、北東～南西方向へ約 7Mにわたって弓形に並んでいる。この群島は島岸が切り立った岩がけから成り、沿岸は急深でしかも波浪が高い。全島が国の天然記念物に指定されており、許可なく上陸することはできない。各島間とその周辺には暗礁や暗岩が多数ある。

男島の北西方約 18.5Mに肥前島 (32° 14.7′ N 128° 06.4′ E) がある。

第6節 野母埼～野間岬 (海図W180)

野母埼～早崎瀬戸 (海図W169、W197、W203、W206)

概要 野母埼から北東方の牧島に至る約 16Mの間は長崎半島の東岸で、この海域の北東方に橘湾がある。島原半島南端部と天草下島北端部との間に、島原湾に通ずる早崎瀬戸がある。

橘湾 (32° 45.3′ N 130° 07.8′ E) は、東方に約 6.5M湾入し、南西方に開いた湾で、水深はほとんど 36m前後である。湾内東部の小浜港前面は、距岸約 200mで水深 20m以上になり、底質泥で錨かきが良く、南～西以外の各方向の風を避けることができる。沿岸の所々に養殖施設がある。

針路法 (第 22 図参照)

西方から早崎瀬戸

- 1 針路 154° で南下して来る船舶は、大立神灯台 (32° 34.0′ N 129° 44.4′ E) 正横 (約 3.6M) で針路 096° に変針して進み、樺島灯台 (32° 33.1′ N 129° 46.6′ E) 正横で針路 075° に変針して五通礁灯標 (32° 34.4′ N 130° 06.7′ E) 北側に向かう。
- 2 五通礁灯標正横で針路 122° に変針して天草上島の老岳 (32° 28.8′ N 130° 20.4′ E、高さ 591m) 付近に向首し、早崎瀬戸の中央に向かう。
- 3 瀬詰埼灯台 (32° 35.4′ N 130° 10.0′ E) 正横で針路 090° に変針して瀬戸の中央を進む。

南方から早崎瀬戸

- 1 針路 330° で北上して来る船舶は、牛深港灯台 (32° 11.5′ N 130° 01.2′ E) 正横 (約 6.6M) で針路 345° に変針する (樺島灯台に向首する)。
- 2 大江港灯台 (32° 19.1′ N 129° 59.3′ E) 正横で針路 018° に変針する。
- 3 四季咲《シキザキ》岬灯台 (32° 31.8′ N 130° 00.8′ E) 正横で針路 065° に変針して五通礁灯標北方に向かう。
- 4 五通礁灯標正横後、早崎瀬戸の中央に向かうように変針し、瀬詰埼灯台の南方の瀬戸中央を針路 090° で進む。

	9号岸壁	31° 29.0' N 130° 31.0' E	90	4~5.5	2,000×1	
	10号岸壁		250	-	10,000×1	
	11号岸壁		250	6~8	10,000×1	

* D/Tは、排水トン数を示す。

外国貿易船が使用する港湾施設などの保安を強化するための立ち入り制限区域がある。

最大入港船舶 2024年11月12日、客船MSCベリッシマ（171,598 t、喫水8.7m）が、マリンポート岸壁に着岸した。

5 **医療施設**

名 称	電 話 番 号	名 称	電 話 番 号
鹿児島市立病院	099-230-7000	鹿児島大学病院	099-275-5111

海事関係官公署

官公署名	連 絡 先	官公署名	連 絡 先
第十管区海上保安本部	099-250-9800	福岡検疫所鹿児島検疫所支所	099-222-1473
鹿児島海上保安部（港長）	099-222-6680	門司植物防疫所鹿児島支所	099-222-1046
九州運輸局鹿児島運輸支局	099-222-5660	動物検疫所門司支所 鹿児島空港出張所	0995-43-9061
長崎税関鹿児島税関支署	099-260-3125	鹿児島県鹿児島地域振興局建設部	099-805-7414
福岡出入国在留管理局鹿児島出張所	099-222-5658		

台風・津波対策 本港では、台風、津波等による船舶事故を未然に防止するため鹿児島港台風・津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している（問合せ先：鹿児島海上保安部）。

10 **引船** 引船がある。

修理 修理のできる造船所がある。

補給 清水の補給は主な係船岸壁で可能であり、また、給水船がある。燃料油は、給油船から補給できる。

15 **海上交通** 沖縄、奄美、吐噶喇の各群島、種子島、屋久島、桜島及び鹿児島湾内の沿岸各地に至るカーフェリー便、那覇、名瀬、垂水及び指宿に至る定期旅客船便がある。

加治木《カジキ》港 (31° 44' N 130° 40' E) (海図W1255) (JP KJK)

港種 港則法適用港

20 **概要** 鹿児島湾北岸にある南方に開口している港である。主な取扱貨物は建設資材である砂、砂利及びセメントである。

目標

地物名	概位	備考
航空灯台	31° 52.3' N 131° 26.3' E	宮崎空港飛行場灯台、灯高22m
無線柱	31° 55.7' N 131° 28.0' E	赤白塗、高さ101m、入港時の目標となる。

港湾施設

名称		概位	長さ (m)	水深 (約m)	係船能力 (D/W×隻)	備考
東部 ふ頭	第6岸壁 (-4.5m)	31° 54.0' N 131° 27.5' E	420	-	700×7	漁船係留、 接岸不可
	第8岸壁 (-4.5m)		60	4.5	700×1	
	第9岸壁 (-5.5m)	31° 54.2' N 131° 27.7' E	400	2.5~4.5	2,000×4	
	第12岸壁 (-7.5m)	31° 54.4' N 131° 27.8' E	390	4~5	5,000×3	
	第13岸壁 (-9.0m)	31° 54.5' N 131° 27.8' E	210	6~7	10,000×1	
西部 ふ頭	第1岸壁 (-4.5m)	31° 54.1' N 131° 27.4' E	120	2~4	700×2	
	第2岸壁 (-5.5m)	31° 54.3' N 131° 27.5' E	270	3.5~4.5	2,000×3	
	第5岸壁 (-7.5m)	31° 54.5' N 131° 27.5' E	260	6.5~7	5,000×2	
	第7岸壁 (-7.5m)	31° 54.6' N 131° 27.5' E	194	6~7.5	6,000t×1	フェリーター ミナル、 耐震強化岸 壁
	第10岸壁 (-9.0m)	31° 54.7' N 131° 27.5' E	198	8~9.5	10,000t×1	
	第11岸壁 (-9.0m)	31° 54.8' N 131° 27.6' E	300	7.5~8	50,000t×1	旅客船

- 5 台風・津波対策 本港では、台風・津波等による船舶事故を未然に防止するため宮崎港台風・津波対策委員会を設置し、在港船舶などに対し、台風・津波情報の伝達及び警戒、避難の勧告・解除等の台風・津波災害防止措置を指導している。(問合せ先：宮崎海上保安部 TEL 0987-22-3264)

補給 主な岸壁で清水の補給ができる。

注意

- 10 1 南防波堤突端付近は、風潮の状況により、うねりが高くなることがある。
2 大淀川河口付近は、降雨時に土砂が流れ込み水深が変化するため、常に土砂除去作業が行われている。

医療施設

名称	電話番号	備考
宮崎県立宮崎病院	0985-24-4181	

海事関係官公署

官公署名	連絡先	官公署名	連絡先
宮崎県中部港湾事務所	0985-24-6224	九州運輸局宮崎運輸支局	0985-63-2512

海上交通 阪神港（神戸）との間にカーフェリー便（14,000 t 級）、RORO 船の定期船便（5,000 t 級）がある。

細島港 (32° 27′ N 131° 40′ E) (海図W1223) (JP HSM)

商業港



(2019年9月撮影)

工業港



(2019年9月撮影)

港種 特定港、開港、検疫港、出入国港、家畜検疫の港、植物防疫の港、重要港湾

概要 この港は、**牧島** (32° 26′ N 131° 40′ E) 南側の商業港、牧島北西方の工業港、牧島北側の白浜地区及び外港に分かれ、工業港には航路が設定されている。北隣に**門川漁港**がある。

目標

地物名	概位	備考
枇榔《ピロウ》島	32° 27.9′ N 131° 43.9′ E	高さ 75m (島頂付近に灯台がある)、北側の立岩 (高さ 52m) は顕著である。
飛《トビ》島	32° 25.5′ N 131° 41.5′ E	高さ 40m、北岸に定置網がある。
高遠見山	32° 25.4′ N 131° 41.1′ E	高さ 103m、山頂付近に細島灯台がある。
米ノ山	32° 25.2′ N 131° 39.8′ E	高さ 192m、山頂付近に 5 無線塔 (2 基に白灯がある) がある。
乙《オト》島	32° 27.9′ N 131° 40.1′ E	高さ 79m

5

10

気象 2015年9月28日、猛烈に発達した台風により、与那国町では最大瞬間風速が南東の風81.1m/s、観測史上4番目の記録となった。

祖納《ソナイ》港 (24° 28' N 123° 00' E) (海図W224)



(2019年4月撮影)

概要 与那国島北側にある我が国最西端の地方港湾である。港口は、北西方へ開いている。

港湾施設

名称	概位	長さ (m)	水深 (約m)	備考
-5m岸壁	24° 28.4' N 123° 00.0' E	100	5~5.5	
-4.5m岸壁	24° 28.3' N 123° 00.0' E	125	3.5~4.5	フェリー使用

10 ~~海上交通——石垣港との間にフェリー便(753t、週2便)がある。~~

注意 顕著な立標等がないため、入出港に注意を要する。

冬季は、北西の風が常時連吹しており、うねりが港内に直接入り込むため、停泊する場合は注意を要する。